

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

新潟県 新潟市

自治体名：新潟県新潟市

担当課名：学校支援課

電話番号：025-226-3221

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	725.99 km ²
人口	760,597 人
公立中学校数	57 校
公立中学校生徒数	18,884 人
部活動数	460 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	令和 5 年度設置
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	令和 6 年度策定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

市内の中学校生徒数は、平成 8 年には 28,621 人だったが、令和 6 年は、18,669 人（65%）に減少している。今後も減少が続き、15 年後には、市全体の 15 歳人口が 30% 以上減少し、特に減り方の大きい区では、約半分の人数になる見込みである。

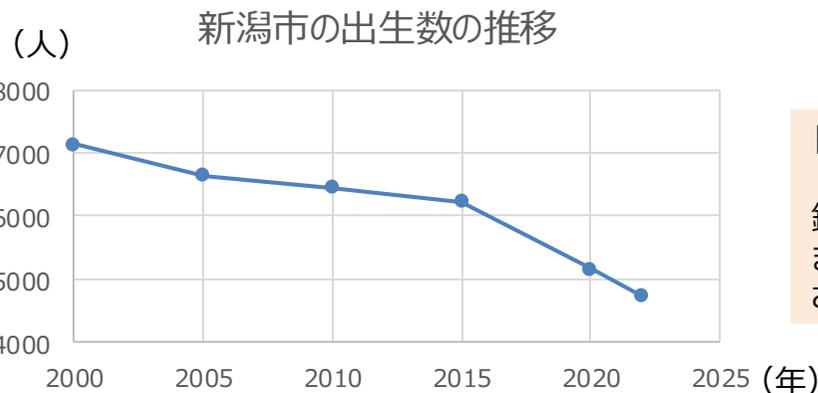
令和 6 年度の部活動は、運動部が 460 部、文化部が 137 部あり、部活動加入率は約 73% である。各中学校に設置されている部活動数・部員が減少し、活動の選択肢が狭まったり、十分な活動ができなかったりする状況が進んでいる。

令和 4 年に開催された新潟市 1・2 年生大

会において、軟式野球では 46 校中 20 校、サッカーでは 37 校中 8 校が部員不足を理由に単独校で出場することができなかった。

部活動は、これまで学校教育活動の一環として、週休日等の活動を含めて、部活動顧問の教員による時間外勤務を伴ってきた経緯があり、教員の長時間勤務の一因ともなっている。

学校の状況によっては教員の希望や専門性の有無などに関わらず、部活動顧問を担う必要が生じるなど、特に指導経験がない教員には大きな負担となっているケースもあり、改善が必要となっている。



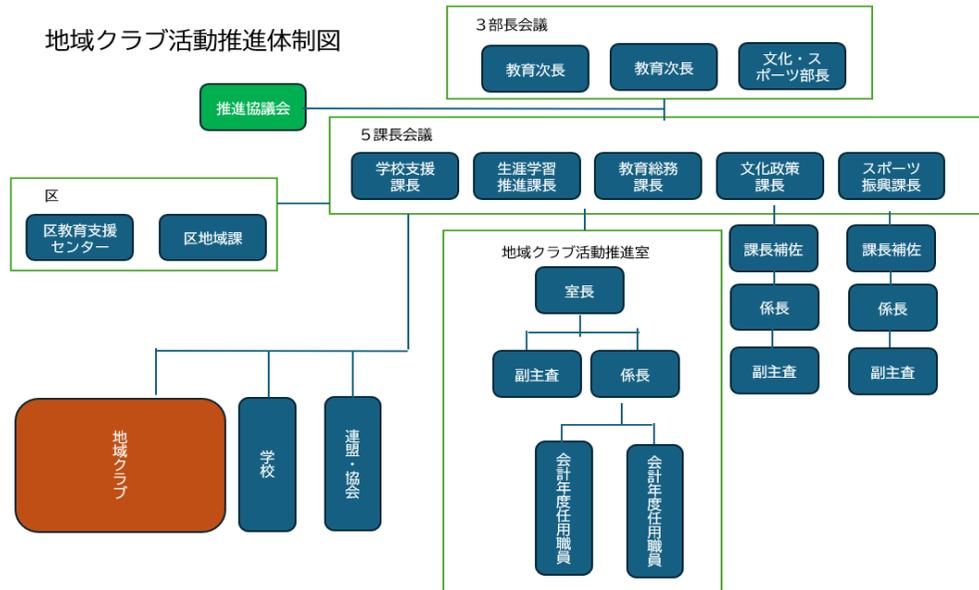
【課題】
現在の新潟市の出生数を鑑みると、今後、減少傾向はますます大きくなることが予想される。

出典：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（総務省）

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・団体リストや指導者リストの整備
- ・円滑なクラブ立ち上げを目的とした補助金制度の運用
- ・中学校施設の利用に関する仕組みづくり

◎首長部局

- ・連盟や協会に対して説明、中学生の受け入れ、指導者派遣について依頼

年間の事業スケジュール

令和6年4月	地域クラブ活動推進室の設置
令和6年4月	市報にいがた発行
令和6年4月	補助金制度の整備
令和6年4月	指導者リストの整備
令和6年4月～	協会・連盟等に説明や依頼
令和6年5月	団体リスト（ポータルサイト）の整備
令和6年6月	中学校に地域クラブ用のキーボックスを設置
令和6年9月～11月	8区で地域クラブ活動体験会（説明会を含む）の開催
令和6年9月～11月	地域クラブの視察
令和6年10月	中学校施設利用の実証事業開始
令和7年2月	推進協議会の開催

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	57 校	実施した地域クラブ総数	120 クラブ（団体リスト掲載数）
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		53 クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		67 クラブ
全体の指導者数	調査していない	全体の運営スタッフ数	調査していない

②各クラブに関すること(3クラブを例示)

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
柳都クラブ	総合型クラブ	野球	週数回	平日夕方・休日昼間	中学生 小学生も参加可能	通年	新潟柳都中グラウンド	1 人	1 人	2,000円/年 初年度のみ	中体連： 部活動
SEKIYA	部活動と連携	バスケットボール	週数回	平日夕方・休日昼間	中学生	通年	関屋中学校体育館	1 人	1 人	12,000円/ 半期	中体連： 地域クラブ
新潟水泳協会	競技団体	競泳 アーティスティックスイミング	週3・4回	平日夜間・休日昼間	中学生 小学生も参加可能	通年	西海岸公園市営プール	6 人	2 人	競泳 4,000円/月 AS 8,000円/月	中体連： 地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 区ごとに体験会（説明会を含む）を開催。
- 約1,400名の来場者。
- 来場者アンケートでは、肯定的評価が9割を超えた。
- 体験会をきっかけにクラブに入会した児童・生徒がいた。

2.実証内容と成果

主な取組例

● 新潟水泳協会 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	水泳 (競泳・アーティスティックスイミング)
運営団体名	新潟水泳協会
期間と日数	競泳 4月～3月 週3回程度 アーティスティックスイミング 4月～3月 週3回程度
指導者の主な属性	水泳協会 (教員を含む)
活動場所	西海岸公園市営プール 鳥屋野体育館プール (震災のため)
主な移動手段	自転車・自家用車 (保護者送迎)
1人あたりの参加会費等 (年額)	競泳 24,000円/半期 週3回以上の場合 アーティスティックスイミング 8,000円/月 週3回以上の場合
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり: 800円/年 指導者1人あたり: 1,850円/年

● 運営体制図 (地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者
役割: 活動における管理者として保護者との連携等を行う。
- 主任指導者 2名 (統括責任者を含む)
役割: 活動における主任者として、生徒への指導を行う。
- 運営補助者 3名
役割: 活動において、主任指導者の補助として、指導を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 地域クラブ活動推進室を設置し、関係団体・学校・保護者等との連絡調整を行う。
- 活動機会の確保・充実など、持続可能な運営ができるクラブを把握する。
- 団体リスト（ポータルサイト）を整備し、生徒が「やりたい活動」や「地域」から活動を検索できるようにした。

取組の成果

- 地域クラブ活動推進室を設置したことにより、関係団体（スポーツ協会、各種競技団体、小中学校PTA連合会、自治協議会、コミュニティ協議会、青少年育成協議会、学校など）との連絡調整・会議運営等を円滑に行うことができた。
- 団体リストの整備により、生徒が地域クラブを検索・選択できるようになった。生徒や保護者からは、「住んでいる地域に様々なクラブがあることが分かった。」といった声があった。地域クラブの代表者からは、「団体リストに情報を掲載したことで、問い合わせや見学が増え、入会してくれた。」また、「クラブのことを多くの方に知ってもらったきっかけになった。」との声があった。

種目を選ぼう！



スポーツ・運動

<input type="checkbox"/>	サッカー	12
<input type="checkbox"/>	軟式野球	11
<input type="checkbox"/>	ソフトテニス	4

出典：新潟市 中学生のための地域クラブ活動 団体リスト
<https://niigata-city.club-portal.jp/>

地域クラブ活動推進室の具体的な動きの実績

- 区スポーツ協会、競技団体に対して、説明会・意見交換会を実施。
- 地域クラブを視察し、課題等のヒアリング等を実施。
- 区校長会を開催し、意見交換を行った。
- 推進協議会を実施し、関係団体等との連携に努めた。

今後の課題と対応方針

- 地域クラブ活動の環境整備を推進するため、団体設立の可能性のある関係者の洗い出しや、関係団体（連盟・協会、学校等）との連絡調整等を実施し、地域クラブの立ち上げを促進する必要がある。
- クラブ設立コーディネーターの配置が必要と考える。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

○ 令和6年4月に指導者リストを整備し、指導者の確保に努めた。

○ 新潟医療福祉大学と連携し、オンデマンド研修動画を作成。

○ 研修受講は、リスト掲載条件。

人材バンクの人数

31名

※ 県との連携を含む

人材バンクの年齢構成

20代	6名
30代	8名
40代	7名
50代	5名
60代以上	5名

登録者属性

職業

会社員

無職

教員（OBを含む）

人材リストを知った理由

ホームページ

競技団体経由

市報にいがた

種目

○ 軟式野球

○ サッカー

○ ダンス

○ バasketボール

○ 卓球

○ 剣道

○ 陸上競技

○ ソフトテニス など

資格有無

○ 中央競技団体
公認ライセンス
公認審判員

○ JSPOコーチ
○ 段位 など

※ 資格は、リスト掲載の条件にしていない。

取組の成果

○ 指導者リストは、県とも連携している。登録者数は、市と県のリストを合わせると31名である。

○ 令和4年実施の保護者アンケートでは、「指導者の専門性よりも資質が心配」との回答が多かったことから、指導者の資質向上に重点を置いた研修内容になるよう工夫した。

○ 指導者リストを見たクラブから指導者について問い合わせがあり、紹介したところ、マッチングが図られた例があった。

指導者リストの掲載項目

性別

指導経験年数

年代

競技経験年数

指導できる競技・活動

指導できる地域

指導資格等

指導できる曜日・時間帯

指導者謝金の希望額

特長・アピールポイント等

出典：新潟市 地域クラブ活動指導者リスト

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

【オンデマンド研修動画】

- 対象：指導者リストへの登録希望者
団体リストに掲載を希望するクラブの役員及び指導者
- 目的：指導者の資質向上のため
- 工夫した点：研修内容を精選した
 - ① コンプライアンス・ハラスメント
 - ② 指導者の役割と心構え
 - ③ 中学生との向き合い方

指導者研修の参加実績

【オンデマンド研修】

- 開催日：令和6年4月から随時
 - 受講者：指導者リスト登録者に加え、団体リスト掲載クラブ（令和7年2月時点で約140クラブ）の役員及び指導者
- ※ 対面参加なし。

受講者の声

- 生徒が、自ら考え行動できるよう指導することの大切さがわかった。
- 時代に合った指導方法を行わなければならないことを認識できた。
- ティーチングをコーチングにチェンジしていくことを念頭に、子どもとともに成長していける指導者であり続けたい。
- 子育てを通じて中学生年代のことはある程度理解していると思っていたが、時代の変化等もあり、固定概念や経験値も含めて新しい対応が必要と実感した。

※ 本市作成のオンデマンド研修動画を他県の指導者研修会で使用した実績あり。

今後の課題と対応方針

- 地域クラブ活動に指導者としてかかわる方には、部活動の教育的意義をしっかりと理解してもらう必要があると感じている。
- 研修内容のさらなる充実が課題である。
- 現在、指導者資格等を求めている。今後は、どの水準まで質を求めめるかについては、検討する必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- 学校と連携して進めていくため、中学校長会や小中学校PTA連合会等において、本市の取組及び、今後の見通し等の説明を実施。地域により実情が異なることから、区中学校長会で意見交換をした。
- 区スポーツ協会・競技団体等に中学生の受け入れや指導者派遣について、説明や依頼を行った。

取組の成果

- 小学校長会・中学校長会の会長を訪問し、学校の協力を求めることで、市内小中学校のすべての児童・生徒に事前周知や団体リスト等のデータをタブレット端末に配信した。また、全校集会、学年集会、帰りの会等の機会に市の取組を周知する機会を得た。
- 区自治協議会の勉強会に参加し、説明や協力依頼をした。「スポーツや文化芸術活動の環境整備は、地域の課題である」、ととらえることにつながり、地域が主導で部活動の地域移行に向けた環境づくりを進めることができた。

小学校長会
中学校長会
学校
保護者
小中学校PTA連合会
自治協議会
コミュニティ協議会
青少年協議会
区スポーツ協会
競技団体

地域クラブ活動推進室

今後の課題と対応方針

- 制度の概要についての説明は行っているが、説明が関係団体に行き届いていない部分がある。個別事案への丁寧な対応が十分とは言えない。
- 競技団体や総合型地域スポーツクラブ、民間事業者等の多様な団体に参画してもらう必要があるため、更なる連携強化を図る。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

【一般社団法人Grow With】

- バスケットボールU15 男子
- 車椅子バスケットボール

障害の有無に関係なく、参加できるクラブである。

活動の詳細	
属性	一般社団法人
具体的な内容	<p><バスケットボールU15 男子> U15バスケットチームは、障がい（発達障がい）等の有無に関係なく一緒に活動できるチームを運営している。大会（試合）はJBAの大会出場を目的としている。 週3回活動</p> <p><車椅子バスケットボール ジュニア（男女）> 小学校低学年から中高生まで、障がいの有無に関わらず同じスポーツ用車いすに乗って車いすバスケットボールを楽しめる。ミニバスのルールをベースに、成長や障がいの程度に合わせて柔軟に対応するため、誰でも安心して参加できる。経験豊富なコーチによる技術指導や車いす操作、装具のサポート、栄養指導も行い、心身の成長をサポートする。 月2回活動</p>
月会費	<p><バスケットボールU15> 6,500円/月</p> <p><車椅子バスケットボール> 1,300円/月</p>



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



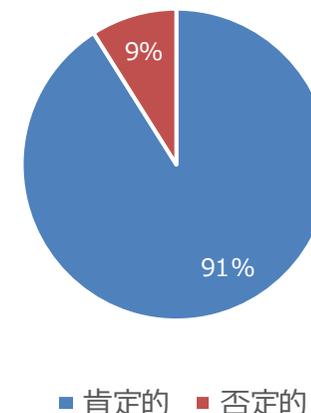
取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

- 地域にあるスポーツ・文化芸術活動（地域クラブ活動）について、子どもたちが活動を体験したり、説明を聞いたりすることを通して、「やりたい」活動を選択できるようにすることを目的に体験会を開催した。
- 9月から11月にかけて、各区で体験会を実施した。計1,400名の方から来場いただいた。
- 来場者アンケートでは、「一度にたくさんのクラブを体験できてよかった。」「指導者の方が優しく教えてくれた。」「やりたい活動が見つかった」という肯定的な評価・感想を多くいただいた。「出展クラブがもっと増えるとよい」という意見もあり、今後の課題としてとらえている。
- 体験会の開催に合わせて、地域クラブ活動に関する説明会を行った。説明を聞いて、クラブを立ち上げてくださり、団体リストの掲載につながった例もあった。

体験会来場者アンケートの結果



今後の課題と対応方針

- クラブの出展数の確保が課題である。できるだけ多くのクラブから出展いただけるよう、開催時期等を検討する。
 - ◇ 大会等が比較的少ない、11・12月に開催する。
 - ◇ 開催日・会場が確定したら、速やかにクラブに連絡する。
 - ◇ 年間活動計画に位置付けてもらう。
- 周知方法を工夫し、来場者数を増やすことが課題である。
 - ◇ 児童・生徒：タブレット端末
 - ◇ 保護者：学校経由で一斉配信メール
 - ◇ 市民：ホームページ・LINE・Yahooニュース・市報・区だより
 - ◇ 報道関係（新聞・テレビ）：プレスリリース

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

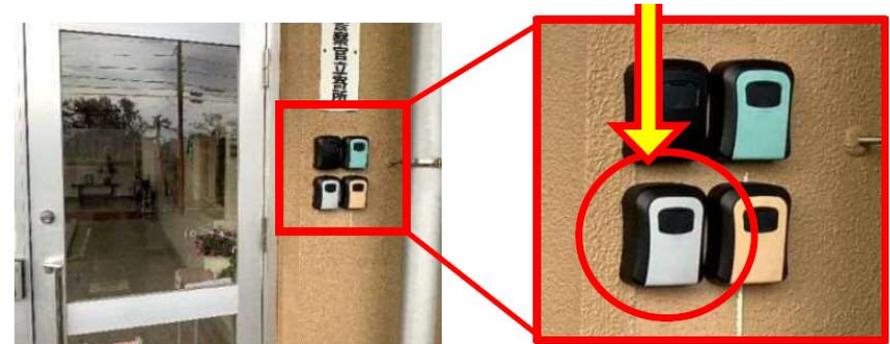
●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

- 市内中学校の空き状況（施設・曜日・時間帯）を調査した。
- 時間帯は、平日17:00～19:00、休日9:00～19:00
- 空きがある場合、団体リストに掲載されているクラブが利用できる実証事業を行った。
- 市内すべての中学校の職員玄関、体育館玄関、武道場玄関（独立している場合）に地域クラブ活動用のキーボックスを設置した。

取組の成果

- 中学校施設について、空き状況をホームページにて公開し、地域クラブが使用できるよう、地域クラブ活動推進室が調整を行った。
- 現在は、部活動を実施しているので、それほど空き状況は多くないが、地域クラブが学校施設を利用することができた。
- 19クラブ（文化芸術を含む）から利用申請があった。



職員玄関に設置した地域クラブ用のキーボックス

今後の課題と対応方針

- 令和8年4月から、平日17:00～19:00、休日9:00～19:00に地域クラブが中学校施設を利用できるよう準備を進めている。
- 学校・関係部署と連携しながら、地域クラブが中学校施設で活動できるよう、中学校施設の利用に関する仕組みをつくる。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

新潟市は、「令和8年4月以降、休日の部活動は実施しない。加えて、平日の部活動を行う場合は、教職員の勤務時間内で行う。」こととし、平日と休日を一体ととらえ、地域クラブ活動の推進を図り、中学生が主体的に「やりたい活動」を選び、決定し、参加できるようにすることを目指している。

今年度、地域クラブ活動推進室を設置したことにより、関係団体との連絡調整・会議運営等を円滑に行うことができ、団体リスト・指導者リストの整備、円滑なクラブ創設を目的とした補助金制度の創設、体験会の開催、中学校施設の利用に関する実証等、様々な取組を行うことができた。

また、スポーツ協会、各種競技団体、小中学校PTA联合会、自治協議会、コミュニティ協議会、青少年育成協議会、中学校長会（全体・区ごと）などを通じて、説明や意見交換できたことが、多くのクラブの設立、既存のクラブへの中学生の受け入れにつながっている。

●成果の評価

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業において、48クラブから協力してもらった。年2回の情報交換会を開催し、各クラブの成果や課題、悩みを共有したり、視察や地域クラブ活動の職員が随時、電話・メール等で助言したりするかわりには、各クラブが持続可能な運営に関しての見通しをもつことにつながった。

また、団体リストを整備し、生徒が「やりたい活動」や「地域」から活動を検索できるようにしたことは、大きな成果である。2月末時点で約140クラブの情報が掲載されており、『ポータルサイトで情報を見る→興味があるクラブに問い合わせる→見学や体験→入会』につながっている。

なお、市独自の補助金制度を創設したことにより、円滑なクラブの立ち上げを促すことができた。

●今後に向けて

地域クラブ活動の環境整備を推進するため、推進室の体制強化を図る。団体設立の可能性のある関係者の洗い出しや、関係団体（連盟・協会、学校等）との連絡調整等を実施し、地域クラブの立ち上げを促進するため、コーディネーターを配置する。

令和8年度以降の中学校施設について、おおむね平日の17時～19時および休日の9時～19時を地域クラブが優先利用できるよう、関係部署との調整を図り、利用の仕組みを整備する。

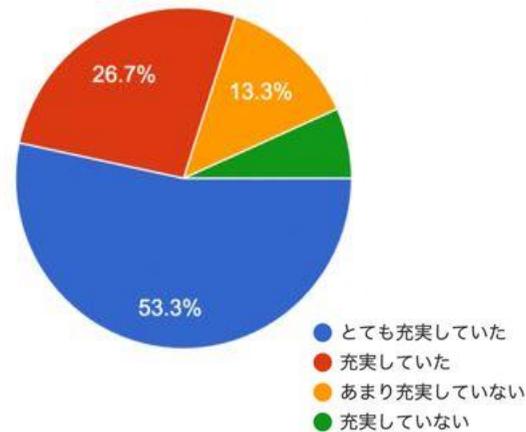
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

Q.【生徒】所属している地域クラブの満足度は？



Q.【保護者】お子さんが所属している地域クラブの満足度は？



Q.【クラブ代表者】運営面について、今後の見通しをもつことができたか？



●参加者の声

【生徒】

通っている学校の部活動に比べてコーチの質が高く、ハイレベルな練習・試合ができた。

専門の指導者から丁寧に指導してもらうことができた。

【生徒】

学校以外のいろいろな人とかかわることが増えた。

他校の友達が増えた。

仲間と楽しく活動することができ、バスケを楽しめた。

【保護者】

子どもから「楽しい」という話を聞く。また、筋力・体力の向上も感じられる。

保護者も練習時、見守りや見学者として参加している。

【クラブ代表者】

指導者は、アンダー世代とも連携しており、メインコーチの人望で指導者の確保は心配ない。

収入・支出のバランスを確認できた。

広報・協力依頼資料

○ 生徒や保護者、市民向けに広報資料を作成した。

「部活動と地域クラブ活動の違い」や「地域クラブ活動に関するQA」などを記載し、理解促進及び周知を図った。

○ 連携・協会等向けに協力依頼リーフレットを作成

「中学生の受け入れ」や「指導者募集」に関する情報を記載し、協力を求めた。

新潟市の中学生のための地域クラブ活動 ～部活動はどう変わる？～

令和4年12月にスポーツ庁・文化庁からガイドラインが公表され、新潟市でも、中学校の部活動改革に向けた様々な検討・取組が始まっています。
これまで、中学生のスポーツや文化芸術活動の多くは、部活動（学校主体の活動）で行ってききましたが、これからは、地域クラブ活動（地域主体の活動）を中心に行われるようになります。

いつ・どのように変わるの？



部活動の終了時刻を早めたり、部活動を実施しないことにより、教員は今まで以上に授業の準備や教材研究などに取り組むことができ、生徒により良い教育の効果をもたらすことが期待されます。

地域クラブ活動

地域のスポーツ・文化芸術団体や中学校の保護者会などが、地域クラブとして活動を始めています。
市では、地域クラブが増えて、中学生がスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会が確保できるよう取り組んでいきます。

令和8年度以降、中学生の過ごし方は、どうなりますか？	部活動	16:45	19:00	21:00	休日
部活動	○	○	○	○	○
生徒会活動など	○	○	○	○	○
レクリエーション活動など	○	○	○	○	○
下校	○	○	○	○	○
地域クラブ活動	○	○	○	○	○

※部活動や部活動以外の過ごし方については、自身の部活動・部外活動の状況に応じて、活動の選択・参加します。

どうして部活動改革をすすめるの？

現状・課題

- 少子化により
- 1部活動あたりの人数が減少し、チームが組めない
- 部活動終了数が減少し、やりたい活動がない

多様なニーズ

- 既存の部活動にはない、様々な競技や活動をやりたい中学生がたくさんいる
- 仲間を楽しみたい！
- 競技力を向上させたい！

『部活動』と『地域クラブ活動』は何か違うの？



『地域クラブ活動』に関するQ&A

- Q 令和8年度からは、市内すべての中学校で部活動がなくなるのでしょうか？
A 令和8年度以降、休日の部活動は実施しません。平日の部活動の実施については、学校ごとに判断します。実施する場合は、原則、教員員の勤務時間内（16時45分）までとなります。中学校では、自分で決定する「目指す生徒の姿」、『身につけさせたい資質・能力の育成』を念頭に、『何を重点に教育活動を行っているのか』について考えています。学校の教育活動全体を再見直す中で、部活動の実施について検討しています。
- Q 地域クラブに参加するには、どうしたらよいでしょうか？
A 市ホームページに掲載している団体リストを見て、興味がある場合は、問い合わせ（男学・入会希望・費用など）が可能です。
- Q 活動中の生徒の事故等は、どこが対応するのでしょうか？
A 地域クラブ活動での事故等は、原則として運営・実施する団体が対応します。
- Q 今まで以上に、中学校で活動することはできるのでしょうか？
A 令和8年度以降、平日17:00～19:00、休日9:00～19:00に地域クラブ（団体リスト掲載）が中学校施設を利用できるよう準備を進めています。なお、令和6年度後期～令和7年度末までは、中学校施設の空き状況を公表し、地域クラブが利用できるようになっています。
- Q 現在、使っている学校の備品（バレーボールの支柱やネット、楽器等）は、地域クラブ活動でも借りることができるのでしょうか？
A 備品を借りることができるよう準備を進めています。ただし、消耗品（ボールやジャル等）は、地域クラブで準備してもらいます。
- Q 保護者の負担は、どうなるのでしょうか？
A クラブの月会費等は、保護者負担です。



＜問い合わせ先＞
新潟県教育委員会 学校支援課 地域クラブ活動推進室
新潟市中央区古町通7番町1010番地 古町ビル4階
電話：025-226-3221 メール：net-chai@city.niigata.lg.jp
【地域クラブ活動の情報は、こちらから】

中学生のための地域クラブ活動 ＜中学生の受け入れ＞と＜指導者募集＞のお願い

地域クラブ活動とは
● 地域のスポーツ団体・文化芸術団体、民間事業者、学校と関係する組織などが主体となって行われる活動
● 中学校施設を中心に、様々な場所で実施
● 多世代（世代間など多様な交流が期待できる）、多様な活動
● スポーツ団体や文化芸術団体で活動している人、企業やクラブチームの選手、社会人や大学の競技経験者、教員などが指導



- （地域クラブの新設には、以下のような検討事項が考えられます）
- 検討事項（例）
- 活動方針：どんなクラブにする？（心身の健康・仲間づくり・競技力の向上等）
 - 活動場所：どこで活動する？（団体リスト掲載クラブは、中学校施設を使用できるよう準備をしています）
 - 活動日数：週当たりの活動日数は？（長くとも平日の総時間数、休日3時間程度とする）
 - 活動時間：何時から何時まで？（平日1日以上・週末1日以上を休養日とする）
 - 会費：月会費等は、いくらにする？（可能な限り感傷な会費を設定する）
 - 指導者謝金：謝金の有無はどうする？ 有の場合、金額は？（指導者と条件を話し合い、クラブの規約により定める）

＜中学生の受け入れ＞ 団体リストに掲載

クラブが中学生を受け入れる例
【＜飲食業＞】
※クラブの締結については、表面をご覧ください。
● 既存のクラブが、「普段の活動に中学生を受け入れることができるか」検討する
● 可能であれば、地域クラブ活動団体リスト掲載申請をする

● 団体リストを見た中学生・保護者から参加申し込みを受け取る
● 中学生と一緒に活動

＜指導者募集＞ 指導者リストに掲載

協会・連盟の会員等が指導者になる例
● 連盟・協会は、所属する会員に対し、地域クラブの指導者募集について周知する
● 希望する方は、指導者リスト掲載申請をする
● 市は申請内容を確認し、指導者リストへ掲載する

● 指導者を探している地域クラブは、指導者リストを見て市に指導者情報（連絡先等）を問い合わせる
● クラブは、指導者と面接を行い、条件が合えば指導者として迎える
● 地域クラブの依頼に基づいて指導

団体リスト掲載のメリット

- 児童・生徒・保護者が団体リストを閲覧するので、会員増加につながります。
- 地域クラブ活動支援事業（補助金交付）の申請ができます。
- 中学校施設（平日17:00～19:00、土日9:00～19:00）が使用できます。
※ R6後期～R7未までは、空きがある施設・時間帯のみ。
- 体験会に出場できます。



＜問い合わせ先＞
新潟県教育委員会 学校支援課 地域クラブ活動推進室
新潟市中央区古町通7番町1010番地 古町ビル4階
電話：025-226-3221 メール：net-chai@city.niigata.lg.jp
【地域クラブ活動の情報は、こちらから】

出典：生徒・保護者への周知リーフレット

出典：連盟・協会への協力依頼リーフレット

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【部活動の保護者会が主導で設立】



【総合型クラブ】



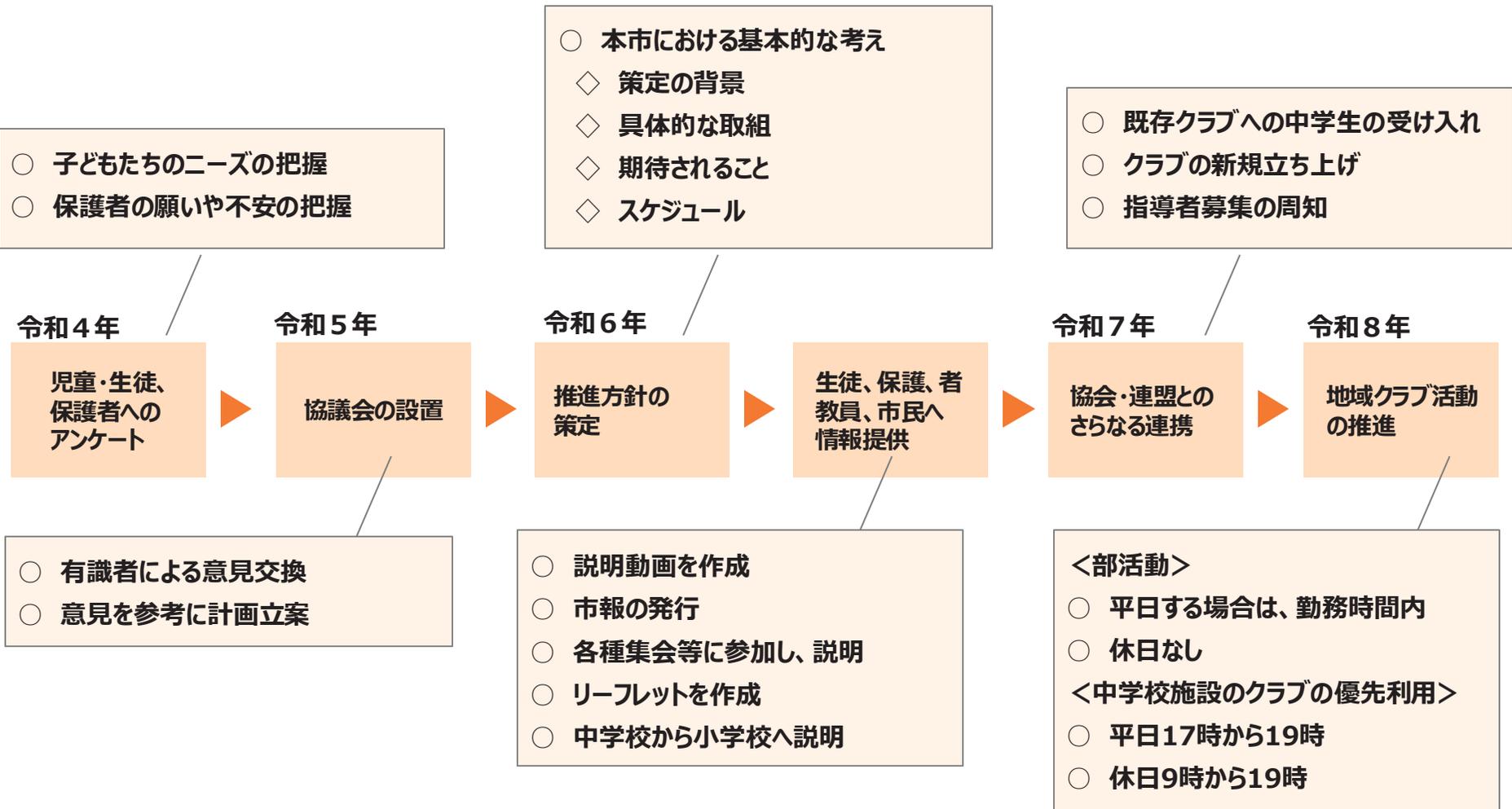
【協会が主催する世代別の活動】



【既存の地域のクラブ】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

